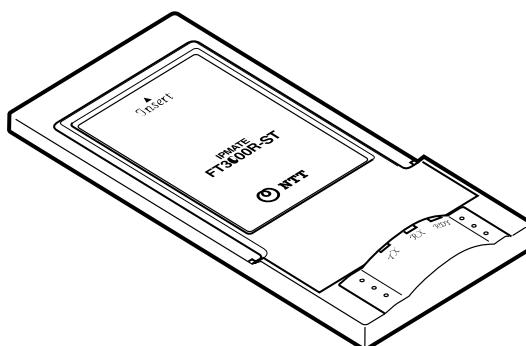


# IPMATE FT3000R-ST

## 取扱説明書

このたびは、IPMATE FT3000R-STをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。






ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本装置のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。  
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。  
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

## 本書中のマーク説明

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は本装置を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

## 警告

本装置から異臭、異音、煙が発生したときは、パソコンの電源をOFFにして電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります。

本装置を分解・改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因になります。

本装置の内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。

万一、異物が入った場合は、パソコンの電源をOFFにして電源プラグを抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本装置を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、パソコンの電源をOFFにして電源プラグを抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本装置のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本装置を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。

人が死亡または重症を負われたり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

航空機内や病院など使用を禁止された区域では、本装置はパソコンから取り外してください。

電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。

## 注意

直射日光のあたるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で本装置を操作しないでください。感電・故障の原因になります。

本装置に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。こわれてけがの原因となることがあります。

高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。

社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## STOP お願い

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

落としたり、強い衝撃をあたえないでください。故障の原因となることがあります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本装置が正常に動作しないことがあります。

電気製品・A・V・O・A機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電磁雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。
- ・テレビ・ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本装置の使用場所を移動してみてください。

本装置を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本装置の寿命が短くなることがあります。

万一、本装置を落としたり破損した場合は、すぐに本装置をパソコンから取り外し当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本装置のESSIDは必ず変更してください。隣接した同一機種（FT3000R-ST）を使用したワイヤレスLANからアクセスされる可能性があります。セキュリティの面から非常に危険です。付属のFT3000R-STドライバディスク（フロッピーディスク）は下記のことにご注意してご使用してください。

- ・万一の事故に備えて、バックアップコピーを作成し、実際の作業はバックアップディスクを使用してください。
- ・本ソフトウェアは日本国著作権法により、お買い求めいただいた方のみに使用を許諾するものです。
- ・本ソフトウェアの最新性、使用したときの成果の的確性、信頼性等について保証はいたしません。
- ・磁気を近づけないでください。
- ・磁気面を触らないでください。

通信中にパソコンの電源が切れたり、本装置を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

本装置の装着方法はパソコンにより異なることがあります。あらかじめご使用になるパソコンの取扱説明書などでご確認ください。

本書に記載されるアプリケーションなどの正式名称は以下のとおりです。

Windows® 95.....Microsoft® Windows® 95 Operating System

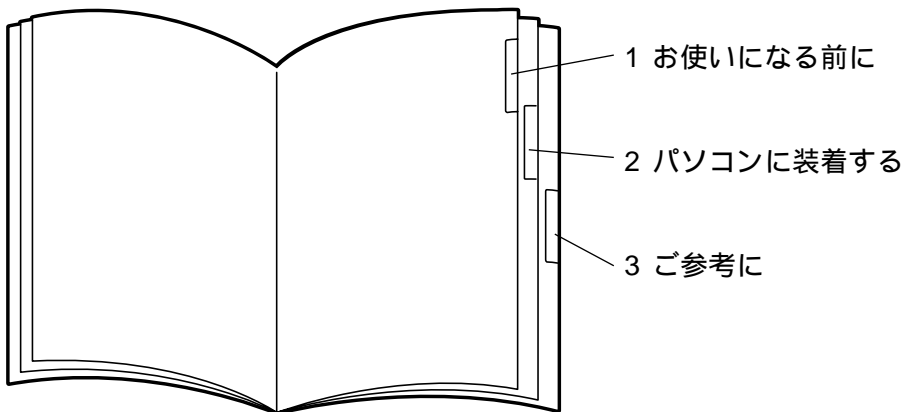
Windows® 98.....Microsoft® Windows® 98 Operating System

Windows® は、米国Microsoft Coporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
DOS/Vは、米国IBM社の登録商標です。

その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

# この取扱説明書の見方

## この取扱説明書の構成



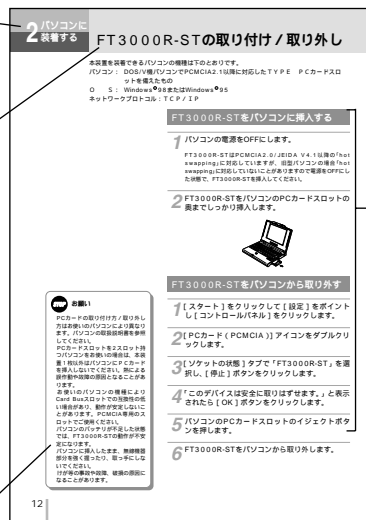
## 操作説明のページの構成

### 章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

### タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。



### 操作手順説明

順番に操作を説明します。

### 表示画面

操作の結果が表示されます。

### お願いまたはお知らせ

#### お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、  
本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機  
能停止を招く内容を示します。

#### お知らせ

この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事  
項を示します。

### ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイス  
などの補足説明です。

### メニューやボタンの表記

本書では、画面内の選択項目や入力、設定項目などを「」  
で囲んで示しています。また、ボタンなどを[ ]で囲  
んで示しています。

<例>「メンテナンスメニュー」の[ファームウェア更新]  
を選択し、[実行]ボタンをクリックします。

# 目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください .....	2
この取扱説明書の見方 .....	5

## 1 お使いになる前に

特 長 .....	7
セットを確認してください .....	8
各部の名前 .....	9
ワイヤレス LAN とは .....	10
このような方や場所にお勧めです .....	10
通信距離について .....	11
通信圏外になると .....	11

## 2 パソコンに装着する

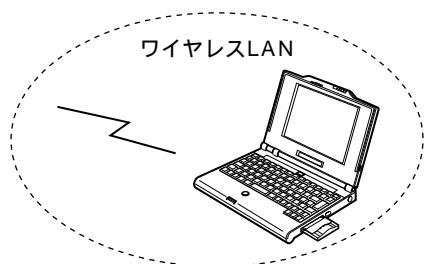
FT3000R-STの取り付け / 取り外し .....	12
FT3000R-STをパソコンに挿入する .....	12
FT3000R-STをパソコンから取り外す .....	12
パソコンを設定する .....	13
Windows® 98の場合 .....	13
Windows® 95の場合 .....	17
ネットワークの設定 .....	19
TCP/IPのインストールを行う .....	19
TCP/IPの設定を行う .....	20
DHCP機能を利用しないときは .....	23
設定リファレンス .....	25
設定ユーティリティをインストールする .....	25
識別用コード (ESSID) の設定 .....	26
インフラモード / アドホックモードを 切り替える .....	27

## 3 ご参考に

トラブルシューティング .....	28
索 引 .....	29
仕 様 .....	30
保守サービスのご案内 .....	31

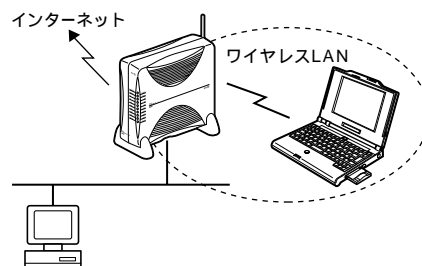
## LAN配線すっきりのワイヤレスLANが構築できます。

新規に配線するさまざまな、お困りを解決します。  
・配線が困難・わずらわしい・工事費が高いなど



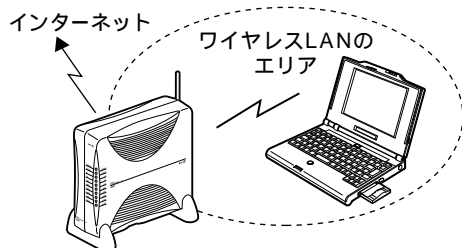
## 有線LANとシームレスに運用（インフラモード）

FT3000R-AP（別売）を経由して、既存の有線LANと接続できます。



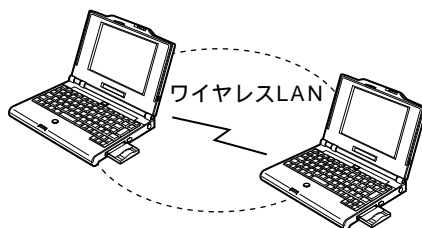
## いつでもインターネット

FT3000R-AP（別売）と組み合わせて利用すると、無線通信圏内であれば、どこでも（居間・寝室・書斎など）パソコンを移動してお好みのスタイルでご利用できます。



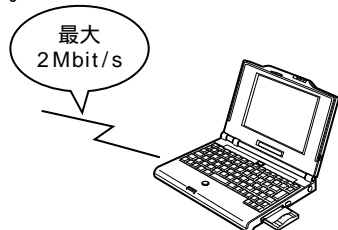
## パソコン2台でもワイヤレスLAN（アドホックモード）

現在LANを組んでいなくても、パソコン2台から簡単にワイヤレスLANを始めることができます。



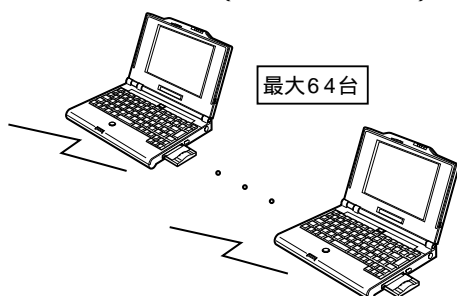
## 高速無線伝送2 Mbit/s（最大）

必要十分なスピードで、快適なワイヤレス環境を提供します。



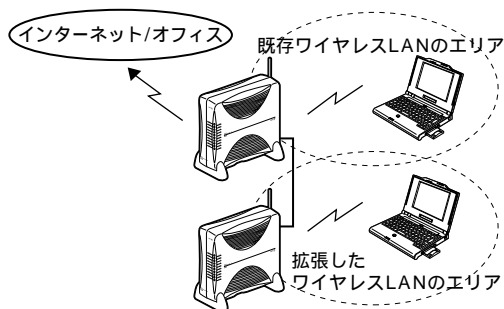
## ワイヤレスLAN最大接続数64台

本商品を利用したパソコンを、ワイヤレスLANに64台まで登録可能です（推奨10台以下）。



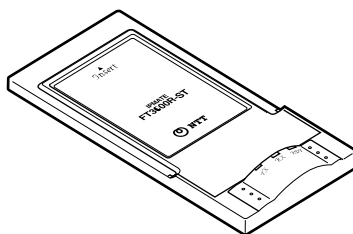
## ローミング機能

複数のFT3000R-AP（別売）のワイヤレスLANのエリアを移動してそのままご利用になれます。



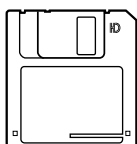
# セットを確認してください

## 本体

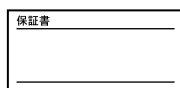


IPMATE FT3000R-ST

## 付属品



フロッピーディスク（1枚）



保証書（1枚）



NTT通信機器  
お取扱相談センタ  
シール（1枚）

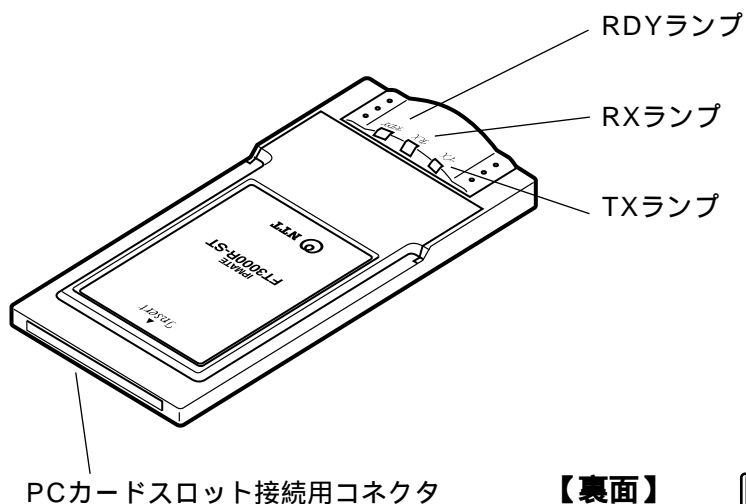


取扱説明書（1冊）

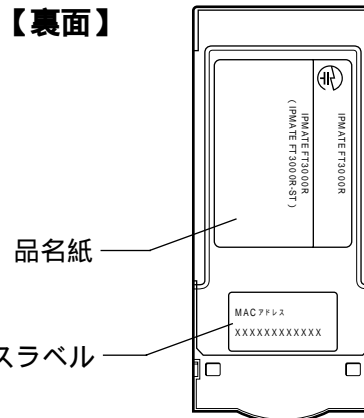
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。



# 各部の名前



## 【裏面】



## お知らせ

FT3000R-STはCD00-0032JPの番号で認証番号が取得されています。

## 【ランプ表示】

	パソコン 電源投入時	ワイヤレス通信 圏内	ワイヤレス通信 圏外	データ 送信時	データ 受信時
RDYランプ	消灯	緑点滅	緑点灯	緑点灯	緑点灯
RXランプ	消灯	黄点滅	黄点灯	消灯	黄点灯
TXランプ	消灯	消灯	消灯	赤点滅	赤点滅

## 【最初にアドホックモードで立ち上がったパソコンのランプ表示】

アドホックモードでは、最初に立ち上がったパソコンがワイヤレス通信圏の中心となります。

	パソコン 電源投入時	ワイヤレス通信 圏内	ワイヤレス通信 圏外	データ 送信時	データ 受信時
RDYランプ	消灯	緑点灯		緑点灯	緑点灯
RXランプ	消灯	黄点灯		消灯	黄点灯
TXランプ	消灯	消灯		赤点滅	赤点滅

# ワイヤレスLANとは

FT3000R-STを挿入したパソコンどうしやFT3000R-AP（ワイヤレスダイヤルアップルータ：別売）を利用して簡単にワイヤレスLANを構築できます。

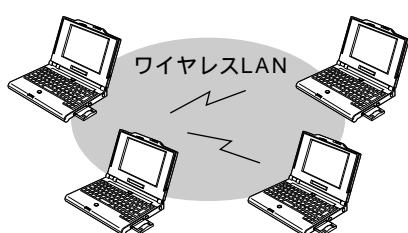
本書で記載するワイヤレスLANとは、FT3000R-STを挿入したパソコンどうしや、FT3000R-APとワイヤレスで通信する機能です。LANケーブルで接続したときと同様に運用ができます。（伝送速度は異なります。）

FT3000R-STを挿入したパソコン間でPeer to Peerで通信するアドホックモードと、FT3000R-STを挿入したパソコンとFT3000R-APを介して有線LANやインターネットに接続するインフラモードと2つの形態で運用できます。また、複数のFT3000R-APのワイヤレスLANのエリアを移動するローミング機能もご利用になれます。

## 【アドホックモード】

FT3000R-STを挿入したパソコンどうしで通信します。

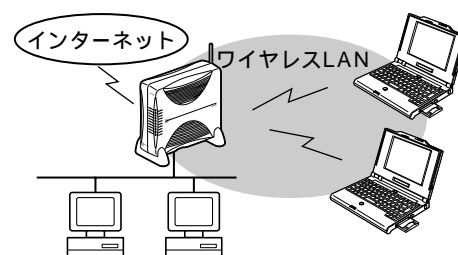
伝送速度 最大1 Mbit/s



## 【インフラモード】

FT3000R-APを介して有線LANやインターネットと無線で通信します。

伝送速度 最大2 Mbit/s

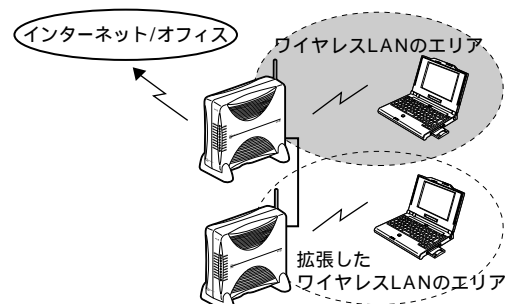


## ワイヤレスLANで、できること

WWWの閲覧・メール送受信・LANやワイヤレスLANに接続された機器とのファイル共有や周辺機器の共有。

## ローミング機能

FT3000R-STを挿入したパソコンを他のFT-3000R-APのワイヤレスLANのエリアに移動しても設定を変更せずにそのままご利用いただけます。



## 主な仕様

- 伝送速度
- FT3000R-APの接続数

最大2 Mbit/sで無線通信（アドホックモード時は最大1 Mbit/s）

最大64台（推奨10台以下）/FT3000R-AP1台につき

FT3000R-APをLANに増設して、接続数を増やすことができます。

- アドホックモードでの接続台数
- セキュリティ

接続台数に制限ありませんが、使用条件により通信状況は大きく変わります。

## ESSID

FT3000R-STを挿入したパソコン間またはFT3000R-AP間で、接続する際にID認証を行います。

約100 m（見通し）

- 通信可能距離

使用環境により、通信距離は異なります。

- 通信プロトコル

TCP/IPのみ

- 通信方式

FH-SS（周波数ホッピングスペクトラム拡散）方式

雑音や妨害に強く、安定性や秘匿性を求めるデータ通信に適しています。

## このような方や場所にお勧めです

ワイヤレスLANを導入すると、次のような要望を解決します。

### オフィスでは

住居用マンション等で、LANケーブル（10BASE-T等）のオフィス  
営業部門等で、LANに機動性を求めるオフィス  
配置換えが頻繁で、工事費がかさむオフィス  
役員室など、配線で美観を損ねたくない部屋

### 家庭では

1階と2階などで使用環境が離れていて、配線がわずらわしい方  
小さなお子様などがいて、配線に危険を感じている方  
コードレス電話機のように、パソコンをいろいろな部屋で利用したい方

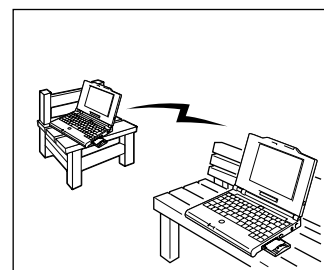
## 通信距離について

ワイヤレスLANで通信できる範囲は、本装置から見通して約100 mの範囲ですが、設置環境や使用環境により通信距離が異なります。

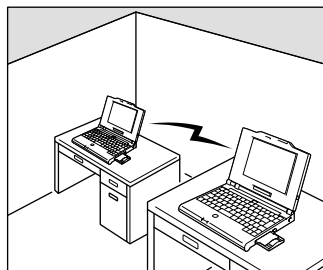
下を参考に設置環境や使用環境を、ご検討ください。

### 設置環境による影響

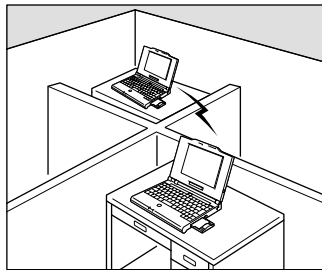
屋外でFT3000R-STを挿入したパソコン間に障害物がなく見通しがある状態を基準（約100 m）に環境による影響を記載します。



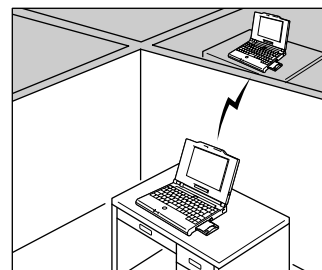
- パーテーションなどでしきられていない場所：  
影響小（やや短くなります）



- パーテーションはあるが、天井まではすきがある場所：  
影響中（短くなります）



- 天井まで壁でしきられている部屋間：  
影響大（かなり短くなります）



### 障害物の材質等による影響

- 木 材 : 影響小（やや短くなります）
- プラスティック : 影響小（やや短くなります）
- 化 学 素 材 : 影響小（やや短くなります）
- ガ ラ ス : 影響小（やや短くなります）
- 水 : 影響中（短くなります）
- ブ ロ ッ ク : 影響中（短くなります）
- コンクリート : 影響大（かなり短くなります）
- 金 属 : 影響大（かなり短くなります）

### 電波障害を起こす機器の近く

動作中の電子レンジなど：影響大（かなり短くなります）



### ワンポイント

通信できる目安としては、次のとおりです。

- マンション等：同一フロアの1戸内
- 一戸建て（木造住宅）：2フロア程度（例．1階と2階）
- 一戸建て（鉄筋住宅）：同一フロア

あくまでも目安ですので、実際には使用環境・設置環境によりとなります。




### STOP お願い

あらかじめワイヤレスLANをご利用できる範囲を確認してください。電子レンジの動作中など電波障害が起きている場合はワイヤレスによる通信ができない場合があります。

## 通信圏外になると

ワイヤレスLANで通信できる範囲から外れると、本商品のRXランプが黄点灯、TXランプが消灯します。通信できる範囲にお戻りください。

[ 圏外時のランプ表示 ]

-  RDY（緑点灯）
-  RX（黄点灯）
-  TX（消灯）

## FT3000R-STの取り付け / 取り外し

本装置を装着できるパソコンの機種は下のとおりです。

パソコン： DOS/V機パソコンでPCMCIA2.1以降に対応したTYPE PCカードスロットを備えたもの

OS： Windows® 98またはWindows® 95

ネットワークプロトコル： TCP / IP

### FT3000R-STをパソコンに挿入する

#### 1 パソコンの電源をOFFにします。

FT3000R-STはPCMCIA2.0/JEIDA V4.1以降の「hot swapping」に対応していますが、旧型パソコンの場合「hot swapping」に対応していないことがありますので電源をOFFにした状態で、FT3000R-STを挿入してください。

#### 2 FT3000R-STをパソコンのPCカードスロットの奥までしっかり挿入します。



### FT3000R-STをパソコンから取り外す

#### 1 [スタート]をクリックして[設定]をポイントし[コントロールパネル]をクリックします。

#### 2 [PCカード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。

#### 3 [ソケットの状態]タブで「FT3000R-ST」を選択し、[停止]ボタンをクリックします。

#### 4 「このデバイスは安全に取りはずせます。」と表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

#### 5 パソコンのPCカードスロットのイジェクトボタンを押します。

#### 6 FT3000R-STをパソコンから取り外します。

#### STOP お願い

PCカードの取り付け方 / 取り外し方はお使いのパソコンにより異なります。パソコンの取扱説明書を参照してください。

PCカードスロットを2スロット持つパソコンをお使いの場合は、本装置1枚以外はパソコンにPCカードを挿入しないでください。熱による誤作動や故障の原因となることがあります。

お使いのパソコンの機種によりCard Busスロットでの互換性の低い場合があります。動作が安定しないことがあります。PCMCIA専用のスロットでご使用ください。

パソコンのバッテリーが不足した状態では、FT3000R-STの動作が不安定になります。

パソコンに挿入したまま、無線機器部分を強く握ったり、取っ手にしないでください。

けが等の事故や故障、破損の原因になることがあります。

FT3000R-STは、Windows® 98、Windows® 95のOSに対応しています。  
ご使用の環境に合わせて設定を行ってください。

## Windows® 98の場合

### 1 PCMCIAドライバを確認する。

コントロールパネルにPCMCIAのアイコンが表示されていれば使用可能です。

アイコンがない場合、Windows® 98のPCMCIAドライバのインストールを行ってください。

### 2 パソコンの電源がOFFの状態で、FT3000R-STをパソコンに挿入します。(P12)

### 3 パソコンの電源をONにします。

「新しいハードウェアが検出されました」と表示されます。

FT3000R-STが認識され「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

### 4 付属の3.5インチフロッピーディスク「FT3000R-STドライバ」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、[次へ] ボタンをクリックします。



#### ワンポイント

ワイヤレスLANを利用するまでの手順

本装置をパソコンに挿入する

パソコンを設定する

ネットワークを設定する

(次ページへ続きます)

**5** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」をクリックし[次へ]ボタンをクリックします。



**6** 「フロッピーディスクドライブ」をクリックし[次へ]ボタンをクリックします。

「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。IPMATE FT3000R-ST」と表示されます。



- 7 「ドライバのある場所：A:\¥FT3000R.INF」が表示されていることを確認し、[ 次へ ] ボタンをクリックします。

ドライバのコピーが始まります。

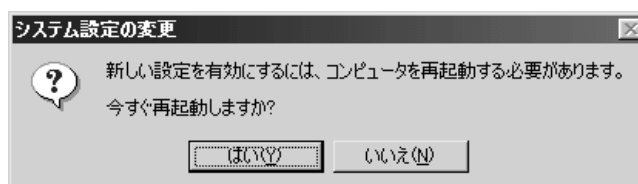


- 8 [ 完了 ] ボタンをクリックします。

「システム設定の変更」画面が表示されます。



- 9 「FT3000R-STドライバ」ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し [ はい ] ボタンをクリックしパソコンを再起動します。



( 次ページへ続きます )

### 10 [ ESSID ] を変更します。

識別用コード ( ESSID ) の設定 ( ●P26 ) を参照して ESSID を変更してください。

### 11 インフラモード / アドホックモードを切り替えます。

ワイヤレス LAN の利用形態に合わせモードを切り替えてください。  
( ●P27 )



#### お知らせ

FT3000R-ST のソフトウェア ( ネットワークドライバ ) のインストールには Windows<sup>®</sup> 98 の CD-ROM または フロッピーディスクが必要になる場合があります。



#### お願い

FT3000R-ST を Windows<sup>®</sup> 98 で使用する場合、他の LAN カードと同時に使用する事はできません。  
また、他の LAN カードのドライバがインストールされていると、正常に動作しないことがあります。  
他の LAN カードのドライバを削除してください。  
FT3000R-ST は、パソコンの電源サスペンド機能に対応していません。お使いのパソコンの取扱説明書を参照しパソコンの電源サスペンド機能を OFF にしてください。  
フロッピーディスクドライブを A ドライブとして記載しています。お使いのパソコンによって異なる場合があります。



## Windows® 95の場合

### 1 PCMCIAドライバを確認する。

コントロールパネルにPCMCIAのアイコンが表示されていれば使用可能です。

アイコンがない場合、Windows® 95のPCMCIAドライバのインストールを行ってください。

### 2 パソコンの電源がOFFの状態で、FT3000R-STをパソコンに挿入します。(P12)

### 3 パソコンの電源をONにします。

「新しいハードウェアが検出されました」と表示されます。

FT3000R-STが認識され「デバイスドライバウィザード」が表示されます。

### 4 付属の3.5インチフロッピーディスク「FT3000R-STドライバ」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、[次へ]ボタンをクリックします。



#### ワンポイント

ワイヤレスLANを利用するまでの手順

本装置をパソコンに挿入する

パソコンを設定する

ネットワークを設定する

(次ページへ続きます)

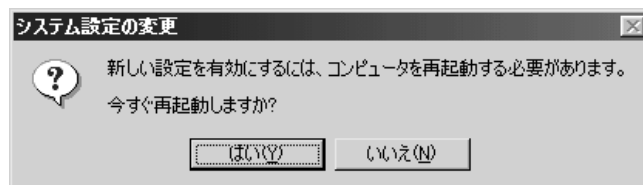
## 5 [完了] ボタンをクリックします。

ドライバのコピーが始まります。



「システム設定の変更」画面が表示されます。

## 6 「FT3000R-STドライバ」ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、[はい] ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。



## 7 [ESSID] を変更します。

識別用コード (ESSID) の設定 (P26) を参照してESSIDを変更してください。

## 8 インフラモード / アドホックモードを切り替えます。

ワイヤレスLANの利用形態に合わせ、モードを切り替えてください。(P27)



### お知らせ

FT3000R-STのソフトウェア (ネットワークドライバ) のインストールにはWindows® 95のCD-ROMまたはフロッピーディスクが必要になる場合があります。



### お願い

お使いのWindows® 95のバージョンにより、表示される画面と異なる場合があります。

FT3000R-STをWindows® 95で使用する場合、他のLANカードと同時に使用する事はできません。

また、他のLANカードのドライバがインストールされていると、正常に動作しないことがあります。

他のLANカードのドライバを削除してください。

FT3000R-STは、パソコンの電源サスペンド機能に対応していません。お使いのパソコンの取扱説明書を参照しパソコンの電源サスペンド機能をOFFにしてください。

本書ではフロッピーディスクドライブをAドライブとして記載しています。お使いのパソコンにより異なる場合があります。

## ネットワークの設定

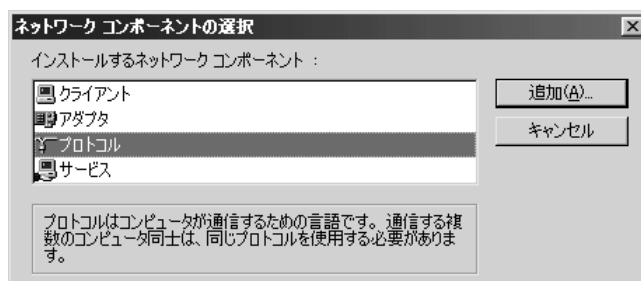
ワイヤレスLANで通信を行うためにネットワークプロトコルを設定します。  
本商品は、TCP/IPのみサポートしています。

### TCP/IPのインストールを行う

**1** 「ネットワーク」画面で [ ネットワークの設定 ] タブをクリックします。

**2** [ 追加 ] ボタンをクリックします。

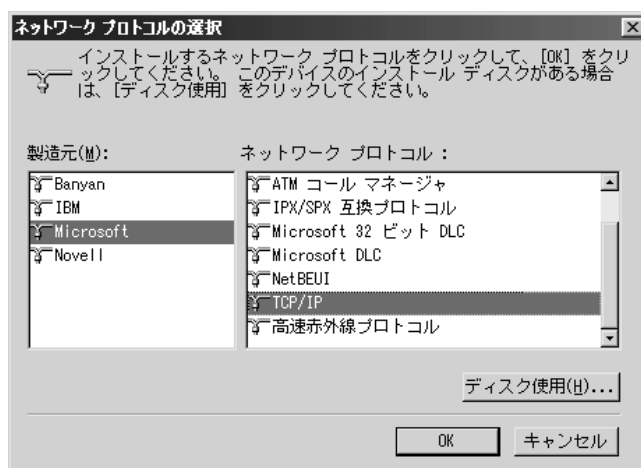
「ネットワークコンポーネントの選択」画面が表示されます。  
[ インストールするネットワークコンポーネント ] にある [ プロトコル ] をクリックし、[ 追加 ] ボタンをクリックします。



**3** [ プロトコル ] を選択して [ 追加 ] ボタンをクリックします。

「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。

**4** [ 製造元 ] から [ Microsoft ] [ ネットワークプロトコル ] から [ TCP/IP ] を選択して [ OK ] ボタンをクリックします。



(次ページへ続きます)

1  
お使いになる前に

2  
パソコンに装着する

3  
ご参考に

## TCP/IPの設定を行う

1 「ネットワーク」画面で [ ネットワークの設定 ] タブをクリックします。

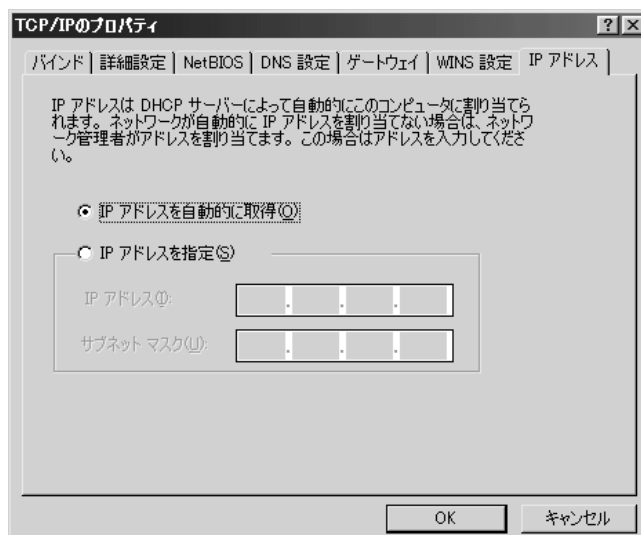
2 [ 現在のネットワークコンポーネント ] から [ TCP/IP ] をクリックし、[ プロパティ ] をクリックします。

「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されます。

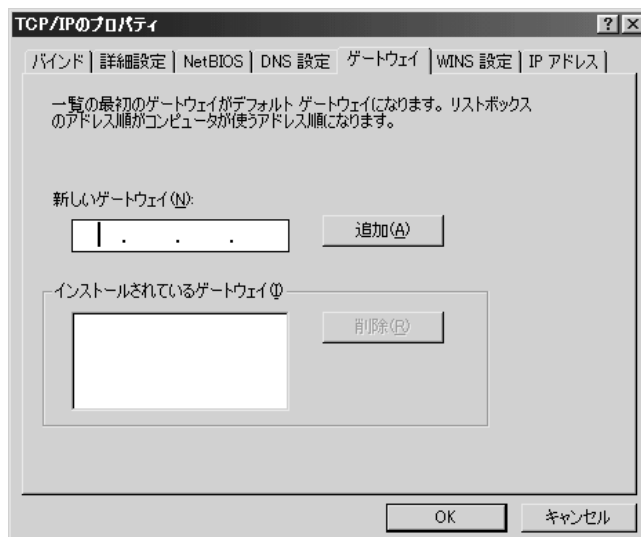


Windows® 95では [ 現在のネットワーク構成 ] から [ TCP/IP ] をクリックしてください。

### 3 [ IPアドレス ] タブをクリックし、[ IPアドレスを自動的に取得 ] をクリックします。

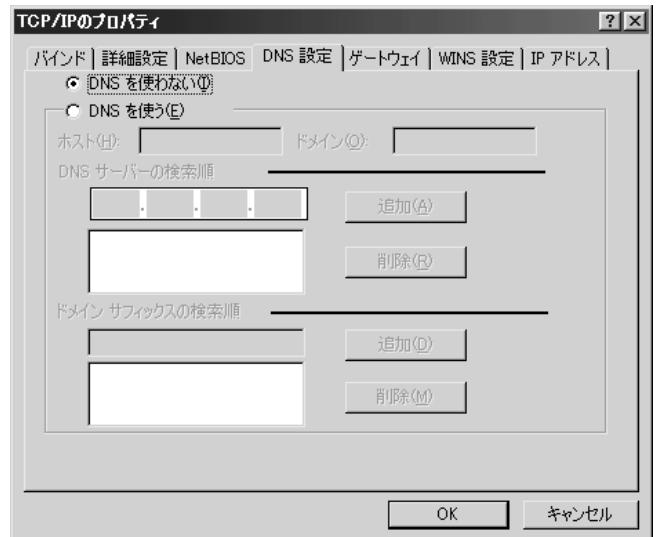


### 4 [ ゲートウェイ ] タブをクリックし、[ インストールされているゲートウェイ ] に値が設定されている場合は削除します。



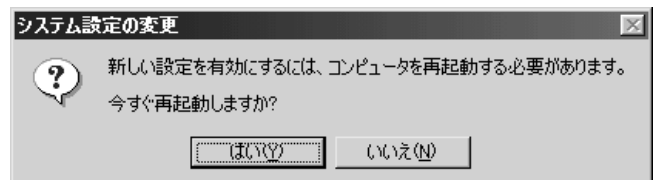
( 次ページへ続きます )

5 [ DNS設定 ] タブをクリックし、[ DNSを使わない ] をクリックします。



6 [ OK ] ボタンをクリックします。

次のメッセージが表示されたら、[ はい ] をクリックして、パソコンを再起動してください。



## DHCP機能を利用しないときは

お使いのパソコンでDHCP機能を使用しない場合は、IPアドレスやサブネットマスク等を設定します。

**1** [ スタート ] をクリックして、[ 設定 ] をポイントし、[ コントロールパネル ] をクリックします。

「コントロールパネル」が表示されます。

**2** [ ネットワーク ] をダブルクリックします。

「ネットワーク」画面が表示されます。

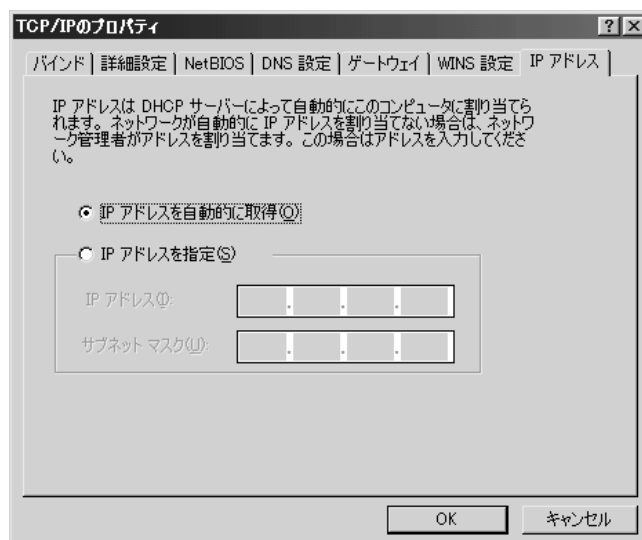
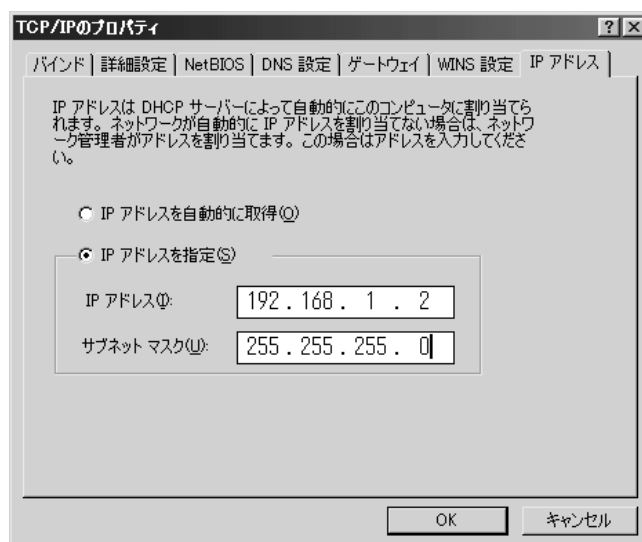


( 次ページへ続きます )

## ネットワークの設定

**3** [ ネットワークの設定 ] の [ TCP/IP ] をダブルクリックします。

「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されます。

**4** [ IPアドレス ] タブをクリックし、[ IPアドレスを指定 ] をクリックします。IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

[ IPアドレス ] [ サブネットマスク ] [ ゲートウェイ ] [ DNS設定 ] を正しく設定します。

それぞれの値はインターネットサービスプロバイダから通知されたIPアドレスまたはネットワーク管理者から通知されたIPアドレスを設定します。

**5** 各画面で [ OK ] ボタンをクリックします。

Windows® を再起動することにより、設定が有効になります。



## 設定リファレンス

FT3000R-STを設定します。[スタート]をクリックして、[プログラム] [FT3000R]をポイントし、[FT3000R-ST設定]をクリックすると「FT3000R-ST設定」画面が表示されます。

### 設定ユーティリティをインストールする

**1** 「FT3000R-STドライバ」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

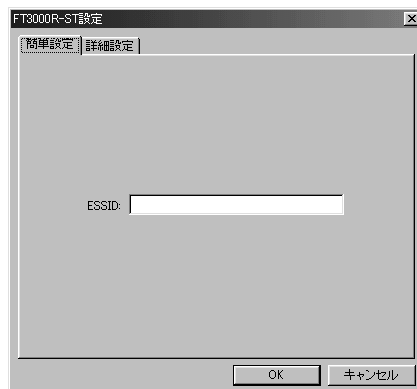
**2** 「マイコンピュータ」をダブルクリックし、[3.5インチFD]をダブルクリックします。

**3** フロッピーディスク内の「SETUP」ファイルをダブルクリックします。

セットアッププログラムのインストールが始まります。

**4** 画面の指示に従い設定します。

### 【簡単設定】



#### ESSID

FT3000R-STを挿入したパソコン間、またはFT3000R-AP（別売）とワイヤレス通信を行うための認証用コードを設定します。

1～32文字までの半角英数字を入力します。

初期値：FT3000R

### 【詳細設定】



#### MODE

ご使用になるワイヤレスLANの形態を設定します。

初期値：インフラ

• インフラ (P10)

FT3000R-AP（別売）を介してインターネット・有線LANに接続します。

• アドホック (P10)

FT3000R-STを挿入したパソコン間のみでワイヤレスLANを構築します。

[初期化] ボタン

お買い求め時の設定に戻します。

オプション設定

本装置の管理用オプション項目です。

お客様の設定は必要ありません。

### STOP お願い

ワイヤレス通信を行う他のFT3000R-STを挿入したパソコン、またはFT3000R-AP（別売）と同じESSIDを設定してください。

## 識別用コード (ESSID) の設定

FT3000R-STを挿入したパソコン間またはFT3000R-APと接続するための識別用コード (ESSID) を設定します。FT3000R-STを挿入したパソコン間またはFT3000R-APのESSIDを同じ設定にしないとワイヤレスLANとして通信できません。

- 1 [スタート] をクリックして、[プログラム] [FT3000R] をポイントし、[FT3000R-ST設定] をクリックします。

「FT3000R-ST設定」画面が表示されます。

- 2 「簡単設定」タブをクリックします。

- 3 [ESSID] に1～32文字の任意の半角英数字を入力します。

既存のワイヤレスLANに、FT3000R-STを追加する場合は、[ESSID] の値を既設のFT3000R-APやFT3000R-STに設定したESSIDを入力してください。

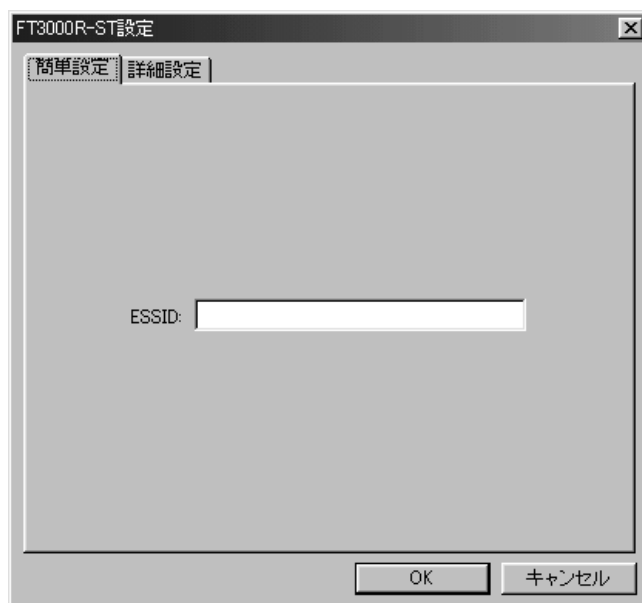


### ワンポイント

初めてESSIDを設定する方は  
あらかじめ設定ユーティリティをインストールしてください。(P25)  
インフラモードでお使いになる場合は  
FT3000R-AP(ワイヤレスダイヤルアップルータ)のESSIDを入力してください。  
FT3000R-APのESSID確認方法  
「かんたんメニュー」の「ワイヤレスLAN設定」でESSIDを確認してください。  
FT3000R-STのESSID確認方法  
他のFT3000R-STを挿入したパソコン  
で手順1～2を行ってください。

### STOP お願い

ESSIDの初期値は「FT3000R」が登録されています。  
そのままだと隣接したFT3000Rを利用したワイヤレスLANからアクセスされる可能性があり、セキュリティの面から非常に危険です。  
インフラモードでご利用時にESSIDを変更する場合は、FT3000R-APのESSIDを変更してから、FT3000R-STを挿入したパソコンのESSIDを変更してください。  
DHCPサーバ機能をご利用の場合は、ESSIDを変更後パソコンの再起動を行ってください。



初期値：FT3000R

- 4 [OK] ボタンをクリックします。

「システム設定の変更」画面が表示されます。

- 5 [はい] ボタンをクリックしパソコンを再起動します。

# インフラモード / アドホックモードを切り替える

インフラモードとアドホックモードを切り替えます。通信する相手のFT3000R-STを挿入したパソコンも合わせてモードを変更してください。



## ワンポイント

インフラモードとは  
FT3000R-APを介して有線LANやインターネットと無線で通信します。  
伝送速度 最大2 Mbit/s



アドホックモードとは  
FT3000R-STを挿入したパソコンどうしで通信します。  
伝送速度 最大1 Mbit/s



## お知らせ

アドホックモードをご利用になる場合、ワイヤレスLANの中にDHCPサーバがないと、固定IPアドレスやサブネットマスクを、FT3000R-STを挿入したすべてのパソコンに設定する必要があります。(P23)  
オプション設定は本装置の管理用オプション項目です。お客様の設定は必要ありません。

1 [スタート]をクリックして、[プログラム] [FT3000R]をポイントし、[FT3000R-ST設定]をクリックします。

「FT3000R-ST設定」画面が表示されます。

2 [詳細設定] タブをクリックします。  
詳細設定画面が表示されます。

3 [MODE] を選択します。  
インフラモードでお使いの方 : 「インフラ」(P10)  
アドホックモードでお使いの方 : 「アドホック」(P10)



初期値 : インフラ

4 [OK] ボタンをクリックします。

「システム設定の変更」画面が表示されます。

5 [はい] ボタンをクリックしパソコンを再起動します。

# トラブルシューティング

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点を確認してください。

トラブルの内容	原因	チェックポイント・対処方法	参照ページ
パソコンに認識されない	PCカードスロットに確実に挿入されていない	挿入し直してください	☛P12
	PCカードスロットが故障している	他のPCカードスロットに挿入して確認してください	
正常に動作しない	Card Busスロットでの互換性が低い	PCMCIA専用のスロットでご使用ください	☛P12
	パソコンのバッテリーが不足している	バッテリーを充電してください	☛P12
	他のLANカードのドライバがインストールされている	他のLANカードのドライバを削除してください またWindows® 98/95では複数のLANカードは同時にご利用できません	☛P16、18
	パソコンの電源サスペンド機能がONになっている	パソコンの電源サスペンド機能をOFFにしてください 詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書を参照してください	☛P16、18
「ネットワークコンピュータ」をダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されない	Windowsを起動したときに、パスワードを入力していない	起動時にパスワードを入力してください	
	TCP/IPの設定が間違っている TCP/IPがインストールされていない	TCP/IPをインストールしてください 固定IPアドレスを使用するときはIPアドレスが重複しないように設定してください	☛P20
	ESSIDの設定が間違っている	同一ワイヤレスLAN内のESSIDはすべて同じにしてください	☛P25、26
	ネットワークの設定が正常にできていない	コンピュータ名やワークグループの設定を確認してください	
ワイヤレスLANで通信できない (PINGを実行しても応答がない)	ESSIDの設定が間違っている	同一ワイヤレスLAN内のESSIDはすべて同じにしてください	☛P25、26
	ワイヤレスLANのエリア(無線通信が可能な範囲)から圏外になっている	インフラモードの場合 FT3000R-APに近づいてください アドホックモードの場合 他のFT3000R-STを挿入したパソコンに近づいてください	☛P9
	ワイヤレスLANの形態(インフラモード・アドホックモード)の設定が間違っている	同一ワイヤレスLAN内の形態の設定はすべて同じにしてください	☛P27
ローミングできない	ESSIDの設定が間違っている	移動先のワイヤレスLAN内のESSIDの設定は同じにしてください	☛P25、26
FT3000R-APにワイヤレスLANで接続できない	MACアドレスが登録されていない または通信が許可されていない	FT3000R-APの「セキュリティ情報」で通信許可されているMACアドレスを確認してください	FT3000R-AP 取扱説明書 ☛P192
	停電している	停電時はご利用できません	
アドホックモードで通信できない	ESSIDが間違っている	同一ワイヤレスLAN内のESSIDはすべて同じにしてください	☛P25、26
	TCP/IPの設定が間違っている	アドホックモードのワイヤレスLAN内にDHCPサーバがない場合は、それぞれのパソコンに固定IPアドレス・ネットマスクを設定してください	☛P20、27

## アルファベット

DHCP	23、27
ESSID	25、26
FH-SS	10
FT3000R-AP	7、10
FT3000R-ST	8
IPアドレス	21、24
PCMCIA	12
PCカードスロット	12

## 五十音

アドホックモード	27
インフラモード	27
ゲートウェイ	24
サブネットマスク	24
設定ユーティリティ	25
通信距離	11
通信圏外	11
伝送速度	10
ローミング	7、10
ワイヤレスLAN	7、10

## 仕様

準拠規格	IEEE802.11 RCR STD - 33
伝送方式	FH-SS方式 IEEE802.11に準拠した周波数ホッピングスペクトラム拡散方式
送信周波数範囲	2.4 GHz帯 2.473 GHz ~ 2.495 GHzの23チャンネル
端末間の距離	見通し：約100 m（環境により異なります）
入力電圧	DC5V ± 5 %
送信電力	4.2 mW
消費電流	送信時：500 mA 受信時：300 mA
動作温度条件	0 ~ 50
保存温度条件	- 10 ~ 70
質量	約50 g
寸法	幅約54 mm × 高さ約9 mm × 奥行き約125 mm
ワイヤレスLANの最大接続数	64台（推奨 10台以下）
対応パソコン	PCMCIA2.1以上のPCカードスロットを持ち、Windows® 98/95の動作をする DOS/V機またはNEC製PC-98NXシリーズ

## 保守サービスのご案内

### 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

### 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して通信機器をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

### 保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

### 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

### お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

### その他

定額保守サービスについては、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

### 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

#### 注 意

本製品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。  
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。


#### NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、  
エコマーク認定の  
再生紙を使用して  
います。

使い方でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：  0120 - 109217 トークニーナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。



©2000 NTTEAST・NTTWEST

本2077-1(2000.2)  
IPMATE FT3000R-STトリセツ